

# 平成22年度事業評価シート(ハード事業)

NO. 21

評価2 ハード

## 1 事業名等(Plan 1)

事業名	医療施設整備事業				
所属名	市民保健部 医療課 地域医療対策グループ				
第七次総合計画	政策	2「やさしさ」のあるまちをめざして	分野	5 健康・保健・医療	基本施策 2 いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する
予算科目	4	1	4	地域医療対策費	41410 救急救命センター施設整備補助金の一部
				費	41410 病院設備整備費補助金
				費	
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	高山市救急医療施設運営費等補助金交付要綱、高山市医師確保等支援事業補助金交付要綱				
事業の実施主体	○ 市 市以外→ 救急救命センター施設整備補助金は飛騨市、白川村				
事業の実施方法	直営 指定管理 業務委託 ○ 団体等補助 その他→				

## 2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	高山市民	受益者数	96,231 人
目的	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	いつでも安心して医療が受けられる環境づくり		
概要	事業の実施手法、手順	交付要綱により申請書、実施計画書等の必要書類の提出、交付決定後実績報告書及び成果表の提出		
概要	事業始期・終期	始期	年度から	終期
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入 救急救命センター施設整備補助金の一部を設備整備費補助金とし、救命センターの設備の充実を図る			

## 3 事業費の推移・結果(Do)

【コスト面】

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
総合計画計画額(当初)	20,000	20,000	30,000	30,000	30,000
総合計画計画額(計画額)	20,000	20,000	30,000	30,000	30,000
事業費	20,000	27,250	30,000		
(計画・予算・見込・決算額)	20,000	25,080			
財源	国庫支出金	予算額			
		決算・見込			
	県支出金	予算額	426		
		決算・見込	300		
	地方債	予算額			
		決算・見込			
	受益者負担	予算額			
		決算・見込			
	繰入	予算額			
		決算・見込			
一般財源	予算額	20,000	26,824	30,000	
	決算・見込	20,000	24,780		
H17国勢調査	96,231 人	32,174 世帯	※コスト＝行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価		
受益者負担率(受益者負担/事業費)	単位	%			
市民1人当たりコスト(事業費/H17人口)	単位	円/人	208	261	
1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯)	単位	円/世帯	622	780	
受益者1人当たりコスト(事業費/指標)	単位	円/人	208	261	
1 その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)	単位	円/人			

## 【成果面】

活動指標(投入した行政資源を使い、どんな活動を行ったか、どのようなサービスを市民に提供したかを表す指標)	指標名	対象病院助成件数	資料・出展算出式	助成件数	単位	件
活動	目標値	2		2		
実績値	2			2		
達成率	100			0		
成果指標(活動やサービスを行った結果、市民にどのような影響(効果)をどれだけ与えたかを表す指標)	指標名	中核病院の1日当たりの外来患者数	資料・出展算出式	年間外来患者数	単位	人
成果	目標値	1,398		1,370		
実績値	1,398			1,370		
達成率						

## 3 事業費の推移・結果(Do)

前年度までの実績(累計)	45,080 千円	内容	日赤 20,000 千円 久美愛 20,000 千円 その他 久美愛 5,080 千円
本年度	20,000 千円	内容	日赤 10,000 千円 久美愛 10,000 千円 その他

## 【成果面】

進捗	本年度	整備状況	整備見込	／ 整備目標	単位	-
	本年度	整備状況	決算見込	／ 予算額	30,000 千円	
	本年度までの累計	整備状況	整備累計	／ 全体計画	単位	-
評価	累計	65,080	／ 全計画額	150,000 千円	43.4	
	事業の進捗率の考え方 全体事業費に基づいて考える					
進捗結果・理由						
○ 計画どおり □ 未達成 該当項目に「○」表示						

## 4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)

市民がいつでも安心して医療が受けられる環境整備の中に医師確保及び高度医療機器の購入の要望がある。

判定理由: A:非常に高い, B:高い, C:低い, D:非常に低い

目的評価: **A**

---

②コスト面評価(事業の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)

該当項目「1」人カ(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)

減少	維持	増加	1
----	----	----	---

判定理由: 医療機器整備により、医師確保及び市民の安心を図る。

---

③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)

該当項目「1」人カ(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)

拡大	1	維持	減少
----	---	----	----

判定理由: 医療機器整備により、病気の早期発見及び医師の疲弊を解消する。

コスト・成果ポジション: **C** 第3水準

---

一次評価 主管課

評価区分: **III**

判断の理由及び課題問題点: 計画どおり実施している。

## 5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案 (下記チェック)

計画どおり実施  改善・継続  終期設定  休止  廃止  完了

活動の方針

次年度実施方針  
今年度の成果を捉え実施する。

---

総合評価

コスト	高	成果	高	評価区分	III
-----	---	----	---	------	-----

「II」以上の水準に向けた改善が必要

市の中核病院における設備・機器の整備は市民が安心して医療を受けられる環境整備のため、また、医師の疲弊解消・医師確保の面からも必要である。  
設備・機器整備の必要性、緊急性等を十分審査したうえで助成を継続していく必要がある。